

平成31年度全国学力・学習状況調査結果について【概要】

岩国市立米川小学校

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 平成31年4月18日(木)

(3) 調査を実施した児童数 10名

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査(国語、算数)

各教科とも「知識」と「活用」に関する問題を一体的に出題

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童に対する調査【58項目】 ※H30 62項目 H29 92項目

イ 学校に対する調査【64項目】 ※H30 84項目 H29 111項目

2 結果概要

(1) 教科に関する全体の結果

平均正答率を山口県及び全国と比べ、算数と国語においていずれの問題も、平均を下回っている。

(2) 生活習慣や学習に関する結果

① 児童に関する調査

【望ましい状況】

- ものごとを最後までやりとげてうれしかったという質問に対して、当てはまる、またはどちらかといえば当てはまると回答した子どもの割合が100%と、県及び全国と比べて高い。(県80.2%)
- 学校のきまりを守っていますかという質問に対して、当てはまる、またはどちらかといえば当てはまると回答した子どもの割合が100%と、県及び全国と比べて高い。(県94.3%)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますかという質問に対して、当てはまると回答した子どもの割合が100%と、県及び全国と比べて高い。(県97.7%)

【課題とみられる状況】

- 新聞を読んでいますかという質問に対して、ほとんど、または全く読まないと回答した子どもの割合が90%と、県及び全国と比べて高い。(県62.7%)

② 教科に関する調査

<国語>

【相当数の児童ができている点】

- (A) 梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして、適切なものを選択する。

(90.0% / 県91.3%)

【課題のある点】

- (A) 公衆電話について、調べたことを【報告する文章】の中の 一 部ウを、漢字を使って書き直す。
- (B) 公衆電話について、調べたことを【報告する文章】の [] の1文を、接続後「そこで」を使って2文に分けて書き直す。

<算数>

【相当数の児童ができている点】

- (A) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ。(90.0% / 県95.3%)

【課題のある点】

- (A) 洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。
- (B) 減法の計算の仕方について、まとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く。

3 今後の対応

(1) 年2回の検証改善サイクルの確立

学力状況と質問紙等の結果把握と分析に基づき、具体的な指導の工夫改善を図る。

(2) 授業改善

「岩国市授業スタンダード」に基づいた学習指導とともに、自分の考えを話したり書いたりして根拠をもって伝える場を設け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。

(3) 地域や周東中校区の学校との連携

めざす子ども像や課題等を共有し、9年間を見通した教育課程を編成し、学力向上を図る。